

項目	めざす姿	施策展開	具体的な取組	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37		
1. 在宅ケアの充実	高齢者の状況に応じて、医療・介護・生活支援等のサービスを適切に組み合わせて提供する体制（連携）が整っている。	◎医療・介護の連携強化	■☆○医療・介護連携推進事業による支援													
		(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	■○各職能団体でリスト化													
		(イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討	■☆○医療と介護の連携会議	医介連携WG 地域包括ケアシステム、医療、介護専門家会議												
		(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	○24時間訪問診療・訪問看護等の提供が可能な体制を確保 ○緊急一時入院への協力体制の構築			検証										
		(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	○連絡票（医介連携の多職種連携マニュアル）の利用啓発													
		(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	☆○在宅医療連携相談支援の強化													
		(カ) 医療・介護関係者の研修	■☆○堺市医師会主導「いいともネット」にて開催													
		(キ) 地域住民への普及啓発	■☆○市民向け講演会の実施 ○在宅医療・介護リーフレット ○かかりつけ医をもちましよう推進・啓発（再掲）													
		◎地域包括支援センターの運営	■☆○総合相談支援 ■☆○権利擁護 ■☆○包括的・継続的ケアマネジメント支援 ■☆○介護予防ケアマネジメント ■☆○堺市版地域ケア会議													
		◎在宅生活を支援する多様なサービス基盤の充実	■☆○地域福祉ねっとワーカーの配置 ■☆○地域のつながりハート事業への支援													
◎市民への情報提供の充実や意識の啓発	■☆○在宅医療に対する意識啓発															
2. 認知症支援の充実	医療や介護などの専門的な支援とともに、早期発見・早期対応を行うための体制の整備、認知症の方や家族への支援ができており、地域における認知症への理解が得られている。	◎認知症に関する普及啓発の推進	■☆○認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成													
		◎認知症への適切な対応	■☆○認知症ケアパスの作成、普及	ケアパスの作成												
			■☆○認知症初期集中支援チームの設置	1か所												
			■☆○認知症疾患医療センターの設置	2か所												
			■☆○認知症地域支援推進員の設置	2人												
			■☆○認知症支援にかかりつけ医師の向上研修 修了者	●人												
			■☆○認知症職種間の顔が見える関係づくり	認知症ケアシステムWG												
		○認知症家族等への支援や居場所づくり	■☆○さかい見守りメールの充実	約280人登録												
			■☆○認知症カフェ設置	17か所												
			○権利擁護支援の充実	■☆○権利擁護サポートセンターの運営、市民後見人養成	●人											
3. 高齢者が安心して暮らせるまち・住まい	自宅のバリアフリー化やサービス付き住宅への入居など、各々の希望と経済力に叶った「住まい」が確保されている。	○住宅改修等の推進	■☆○緊急通報システムの周知・拡充													
		○サービス付き高齢者向け住宅等の質の確保に向けた取組の推進	☆○高齢者の住まい暮らし専門家会議の開催													
		○バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進														
		○災害等緊急時に備えた支援の充実														
4. 介護サービス等基盤整備	自宅のバリアフリー化やサービス付き住宅への入居など、各々の希望と経済力に叶った「住まい」が確保されている。	○介護サービスの質の向上	■☆○介護サービス事業者への指導・助言													
		○介護人材の確保・育成	■☆○さかい介護人材確保・育成支援事業													
		○介護保険施設の適正な整備														
		○介護給付適正化事業の推進	■☆○介護給付適正化事業													
		○費用負担への配慮	■☆○介護給付適正化事業に修正 ■☆○紙おむつ給付事業													
		○介護保険制度に関する啓発、相談、苦情対応等	■☆○介護相談員派遣事業													
5. 介護予防の推進と新しい総合事業の実施	増加する「介護予防」と「生活支援」のニーズに対し、高齢者の自立と、地域での「互助・共助」が促進されるような、多様なサービスが提供できている。	○介護予防事業の再編と普及啓発	■☆○地域における介護予防活動の支援 ■☆○げんきあつぷ教室、複合型介護予防教室の開催													
		○リハビリテーション専門職を活かした取組の推進	■☆○地域リハビリテーション活動支援事業													
		○介護予防・生活支援サービス事業の実施	■☆○多様なサービス制度の構築 ■☆○生活支援コーディネーター機能の整備													
6. 健康の保持・増進	教育関係機関・企業・医療機関等とともに、それぞれの特性を活かして、相互に連携しながら、高齢者を含む市民の主体的な健康づくりを総合的に支援できている。	○地域に根ざした健康づくり	■☆○健康づくり自主活動グループの育成・支援 ■☆○食生活改善推進員の育成・活動支援													
		○生活習慣病などの疾病の重症化予防	■☆○生活習慣病予防のための健康教育の実施 ■☆○健康相談の実施													
		○情報提供ときっかけづくり	■☆○おでかけ応援バス・阪堺線高齢者運賃割引制度 ■☆○老人集会所の整備													
7. 高齢者の社会参加と生きがいの支援	高齢者の生きがいがづくり活動や社会参加を促進できている。	○担い手の育成	■☆○いきいき堺市民大学 ■☆○高齢者のボランティア活動の支援													
		○社会参加の機会の提供	■☆○老人クラブの活性化 ■☆○ねんりんピックへの参加													
		○家族介護者等への支援の充実	■☆○「お節介さかいプロジェクト」													

